

衝立式ネットと光反射資材利用によるアスパラガスのアザミウマ類侵入抑制技術実証

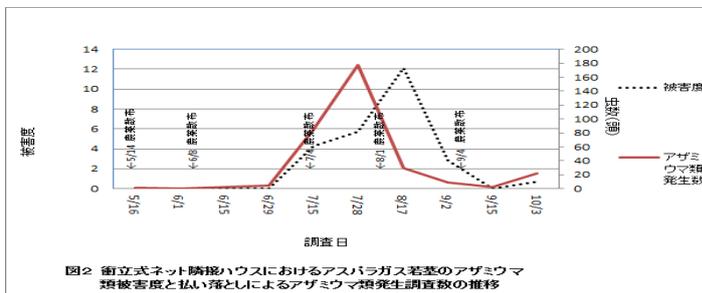
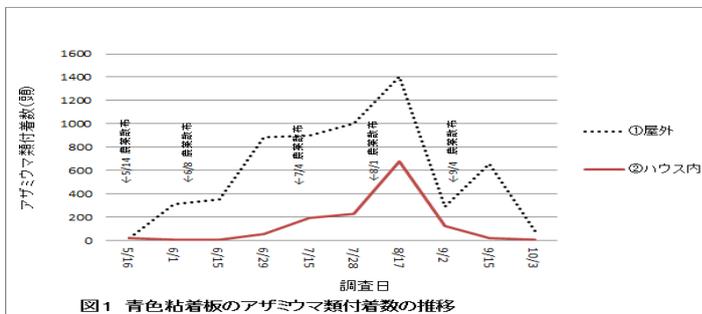
要約

衝立式ネットと光反射資材を設置することにより、ハウス内へのアザミウマ類侵入を抑制することができた。侵入したアザミウマ類を適期防除することにより、慣行栽培と比べて農薬散布回数及び被害の軽減が期待できる。

○ 展示のねらい

アスパラガス栽培において、アザミウマ類による被害が増加しており、薬剤抵抗性の発達により既存の農薬だけでは防除が困難となっている。そこで、物理的防除技術を組み入れた総合防除を実施することによるアザミウマ類の発生密度低下効果を検討した。

○ 主な成果



写真：衝立式ネット設置の様子

衝立式ネット（1mm目合：高2.5m×長50m）とパイプハウスの間に光反射資材（光反射率90%以上：幅1m×長50m）を設置

青色粘着板のアザミウマ類付着数は、いずれの時期でもハウス内が少なかった。

払い落としによるアザミウマ類発生数が10頭以下であった時期は被害度はほぼ0であった。アザミウマ類発生数が多くなるに従い、若茎の被害度も増加した。

○ 今後の方向性

ほ場周囲の除草、アザミウマ類寄主作物を栽培しない等の環境整備を行い、衝立式ネットを設置することにより、ハウス内へのアザミウマ類侵入抑制を図ることができる。しかし、屋外で大量に発生する時期は、侵入を完全に防ぐことができないので、適期に防除する必要がある。農薬散布の目安は、払い落としによるアザミウマ類発生数が10頭/20株を超えた時期と考えられた。

実施機関：安足農業振興事務所経営普及部 実施場所：足利市

問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315